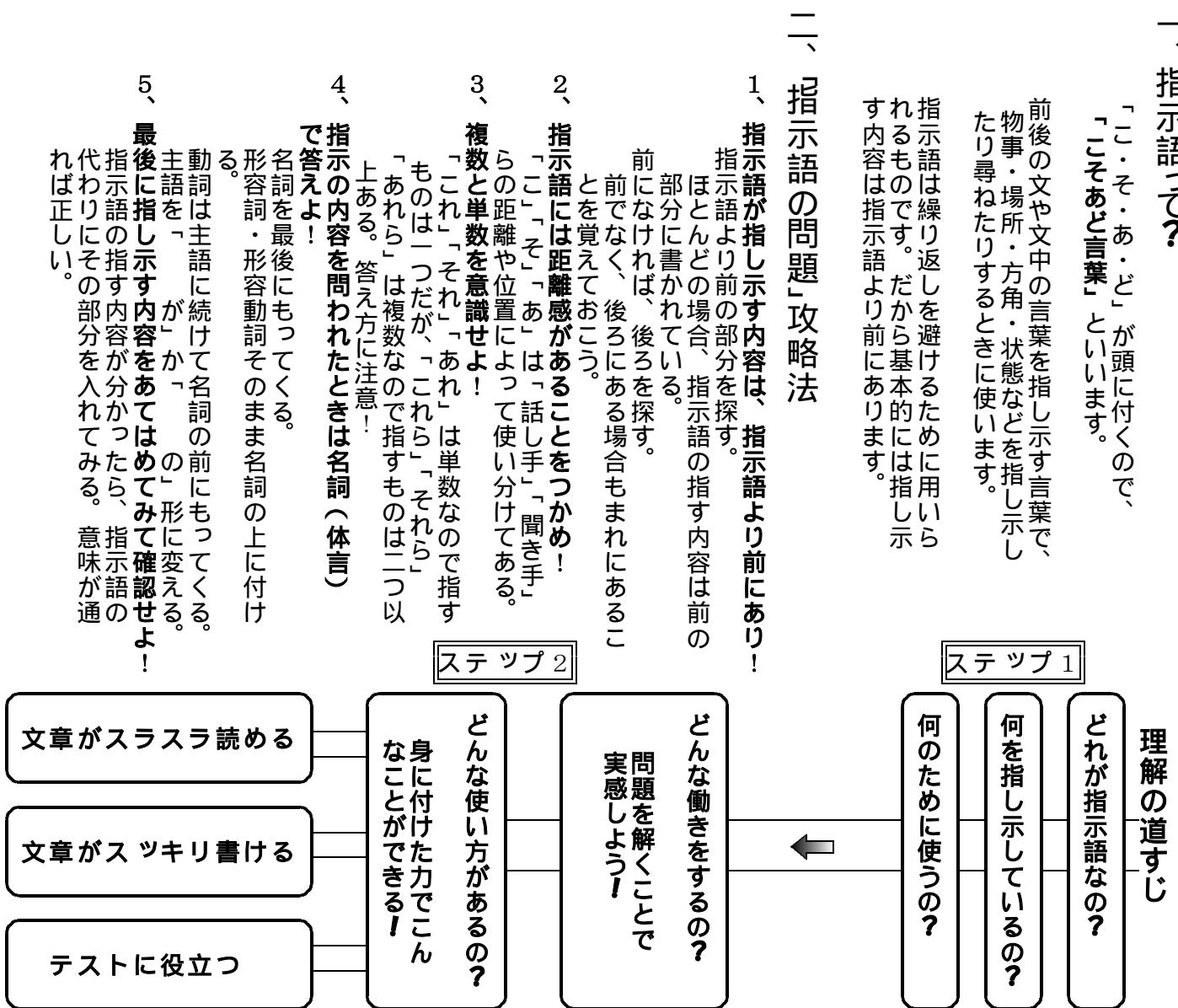


手引せ1

指示語に強くなる！

指示語を正しく理解することは
文や言葉のつながりを正しくと
らえるためにとても重要なこと
なんだよ。
文や言葉のつながりを正しくと
らえる力は、内容の把握にも、
構成の把握にも絶対に必要な力
だからね！



手引き2

接続語に強くなる！

接続語を正しく理解することは、文と文や段落と段落のつながりをとらえるためにとても重要なことなんだよ。文や段落のつながりを正しくとらえる力は、内容の把握にも、構成の把握にも絶対に必要な力だからね！

一、接続語って？

前後の文節や文、段落などをつなぐ文節を接続語といいます。

前後の文や文節をつないで、その関係を表します。前後の文や文節をつないで、その関係を表します。接続語にはいくつかの種類があり、種類による働きが決まっているため、次にくる内容が予測できます。

一、「接続語の問題」攻略法

1、文章は接続語をチェックしながら読み！

接続語が出てきたら印を付ける習慣を付けておこう。

- ・設問の答えのヒントは接続語の前後にありますことが多い。
- ・空欄に接続語を補う問題は、前後の文章をしっかりと読んで関係を考える。
- ・前後の文章が原因・理由、あとにその結果がくる。
- ・「順接」：だから・それで・すると・したがって
- ・「逆接」：しかし・だが・ところが・けれども
- ・「並立・累加」：また・そして・そのうえ・しかも
- ・「前後の事柄にあとの事柄を並べたり付け加えたりする。
- ・「説明・補足」：つまり・なぜなら・例えば
- ・「前後の事柄をあとでまとめたり補つたりする。
- ・「並立・累加」：または・あるいは・それとも
- ・「前の事柄とあとの事柄を比べたり選んだりする。」

ステップ2

文章の続きを予測可能
文章をねじれなく書ける
テストに役立つ

どんな働きをするの?
問題を解くことで実感しよう!
身に付けた力でこんなことができる！

ステップ1

理解の道すじ

何のために使うの?
何と何をつないでるの?
どれが接続語なの?